

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局浄水課	評価者 (課長)	松田 光男	評価責任者 (部長)	川崎 和範
事務事業コード	事務事業名	水道施設統合事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別
				会計名	11水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	安全で安定した水道水の供給を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	施設稼働率の適正化			【 】 %	
	推進施策の展開	☆.水道施設の稼働率を向上させるための事業計画として一の井手浄水場の中止計画を進めます。 ☆.統合による効果として必要経費の削減効果が見込まれます。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 施設稼働率の適正化	意図(どういう状態にしたい): 上水道事業への統合と稼働率向上による費用削減	事業の内容 (手段)	・一の井手浄水場電気設備及び送水ポンプ更新実施設計業務委託 ・北山加圧ポンプ所実施設計業務委託 一の井手浄水場の浄水処理を中止し、菊川浄水場から送水するため施設整備の実施設計を行うものです。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	☆.周南市東部地区送配水施設基本設計業務委託。 旧徳山東部地区(一の井手・大迫田浄水場)の送配水計画を業務委託にて実施しました。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(予算)	29年度(見込)	
						直接事業費	千円	28,000	0	8,975	43,848	303,800		
						(予算額) うち一財	千円							
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	事業費	直接事業費	千円	34,545	3,400		対28年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円					一の井手浄水場を中止し、菊川浄水場に統合のため構造物の築造・電気機械設備の設置工事を実施	
	目標値						正職員人件費	千円	0	3,698				
	実績値						人工数	人			0.50			
	達成度(%)						支出コスト	千円	決) 34,545	決見) 7,098				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		。		委託等の可否			
	① 施設稼働率の適正化 (施設等整備事業)		市民	稼働率向上による費用削減	一の井手中止による菊川浄水場の稼働率向上と経費削減	予算未計上の業務であるが実施により統合計画の方針が確定。	正職員	臨時等	0.5		3,400	委託	臨時嘱託	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の統合については、計画から統合完了まで期間を要するため、局作成の長期事業計画と調整しながら事業を進める必要がある。				B	改善案	全体の事業計画を毎年精査し、不要な事業や合理化できる事業は実施しないように毎年調整する。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	事業統合は上水事業・簡易水道事業・飲料水供給事業も含まれるもので平成19年に簡易水道事業統合計画を作成し、厚生労働省に提出しています。現在目標である平成28年度統合完了に向けて取り組み中であるが、改修費用の増大や料金統一などの問題点に苦労している。	前年度までの指摘事項	鹿野・熊毛統合計画が遅れている。	指摘事項に対する改善状況	簡易水道整備室と連携し、計画を進めている。
	細事業の課題・問題点	上水事業の統合計画(一の井手中止事業)は予定通りに進めているが、鹿野・熊毛簡水統合については、平成27年度・28年度と連係して進める必要がある。	事業全体の課題・問題点	統合後の技術力の維持や人員の適正化など課題が多く、特に維持管理や施設更新・耐震化等の費用については市からの補助が必要である。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	統合までに更新計画を着実に進める。民間委託による施設の維持管理を進めコストの削減を進めている。	改善案	水安全を強化する体制を確保する。(職員+委託従事者)
----	---	--	------	---	-----	----------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	施設の統合、ダウンサイジングにより、将来の資本費、維持管理費が大きく削減できる。今後は、水道工務課等と連携を図ることで、スケールメリットも出てくる。さらなる効率的な施設運営に取り組まいたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600503
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(3)稼働率の適正化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
①.	一の井手浄水場中止対応として平成28、29年度にて菊川浄水場からの受水関連施設の新設を実施し、水道施設の稼働率向上に努める。
②.	施設の新設に係る平成28.29年度の予算は高額となるが統合後の維持管理や旧施設の更新が不要となる。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局浄水課	評価者 (課長)	松田 光男	評価責任者 (部長)	川崎 和範
事務事業コード	事務事業名	浄水施設耐震化事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別
			会計名	11水道事業会計	

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	安全で安定した水道水の供給を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	上下水道施設の長寿命化・耐震化			【 】 %	
	推進施策の展開	☆.大迫田浄水場および一の井手浄水場の使用施設の耐震化計画を進める。			25年度市民評価の満足度	
		【 】 %				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 水道施設の長寿命化と耐震化	意図(どういう状態にしたい): 耐震化工事を実施することで施設の延命化と費用削減が図られる。	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> 一の井手浄水場耐震化実施設計業務委託 送水ポンプ室は、今後も継続使用するため、耐震化工事を実施します。 大迫田浄水場耐震化実施設計業務委託 昭和41年より稼働している施設であり、耐震強度不足と診断され27、28年度の2カ年継続事業として耐震化実施設計を行う。 		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	一の井手貯水池耐震診断業務委託						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	186,000	29,160	83,193	68,040	0
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目			単位	%	(予算額)	うち一財	千円				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	0	17,064		対28年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値						(決算額)	うち一財	千円			平成27年度予算に大迫田耐震業務委託の予算を計上したが契約により支払いが28年度になり契約額を予算化した。		
	実績値						正職員人件費	千円	0	3,698				
	達成度(%)						人工数	人		0.50				
							支出コスト	千円	決) 0	決見) 20,762				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	上下水道施設の長寿命化・耐震化 (施設等整備事業)	市民	貯水施設の安全確認と耐震化計画		施設の有効利用と延命化に向けた計画の策定		豪雨による危険性や貯水使用範囲について診断結果が出たことにより、安全運用が可能となる。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
										0.5		17,064	否	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 浄水場の耐震性については診断が完了しているが、工事計画については長期計画を作成し取り組む。						B	改善案	計画を精査し取り組む必要がある。			
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							改善案	細事業評価				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年より施設の耐震・劣化診断を開始し、平成23年度に上水施設の診断を完了した。平成22年11月に発生した東北大地震以降、施設の耐震化が注目されることとなる。	前年度までの指摘事項	長期計画等全体の方向を確認しながら事業を進めていたが基幹となる施設が確立されていない状態であった。	指摘事項に対する改善状況	基幹浄水場を大迫田浄水場と決定し、耐震化計画の業務委託について計画をスタートさせた。
	細事業の課題・問題点	一の井手中止による施設の更新計画の中止と菊川受水による水道施設の稼働率向上を目的として事業を進めた。今後、各浄水場の耐震化計画においては、事業計画と財政計画を検証しながら進め、不要な事業や改修は中止する。	事業全体の課題・問題点	耐震化費用が莫大な額となるため事業の長期計画(40年先)を作成するため平成26年度より協議をスタートさせている。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	計画及び検討時期であることから。	改善案	工務・浄水担当職員が中心となり、長期計画を作成する。時期に応じて財政を含め、財政計画を検討する。
----	---	--	------	------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	料金収入が減少傾向にあるなかで、施設の長寿命化は避けて通れない。アセットマネジメントを実施するなど、優先順位を定めて取り組む必要がある。耐震化についても、長寿命化との調整を図りながら、効果的に進められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600502
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
大迫田浄水場耐震化実施設計業務委託については、平成27,28年度の2カ年の債務負担として平成27年度に予算化しているが、支払いについては平成28年度業務終了時となるため、契約額を予算額として計上。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局浄水課	評価者 (課長)	松田 光男	評価責任者 (部長)	川崎 和範			
事務事業コード	事務事業名	基幹管路耐震化事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別	補助	会計名	11水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	安全で安定した水道水の供給を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	基幹管路の耐震化			【 】 %	
	推進施策の展開	☆.基幹管路(導水管・送配水管)の耐震化計画を進める。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 基幹管路の耐震化	意図(どういう状態にしたい): 浄水施設から配水池及び市内給水本管の耐震化による安定給水の確保。	事業の内容 (手段)	・平成27年度は、平成28年度に実施する大迫田浄水場菅野系導水管改良工事について関係機関との協議・調整を進めてまいります。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・大迫田低地区配水池基本設計業務委託(送配水管を含む)を実施。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
									直接事業費	千円	0	0	0	162,900	0
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%		(予算額) うち一財	千円						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	24,824	0			対28年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値							(決算額) うち一財	千円						
	実績値							正職員人件費	千円	0	3,698			大迫田浄水場の施設全体の耐震化に向け、平成28年度は、菅野系導水管の耐震化事業を実施するため。	
	達成度(%)							人工数	人			0.50			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①		基幹管路の耐震化 (施設等整備事業)	市民	管路耐震化による安定給水	管路の耐震化計画と工事の実施	配水池及び送配水管の新設について検討中		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
									0.5		2,808	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 送・配水管の更新は配水池の更新時期と関連するため、長期事業計画と共に実施時期や規模について検討する必要がある。				B	改善案	計画を精査し取り組む必要がある。						
	②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	水道施設の更新計画と共に原水導水管・配水池への送水管の耐震化計画を進めている。施設の耐震診断により、配水池の新規更新時の耐震管設置も合わせて進めることとしている。	前年度までの指摘事項	導水管の耐震化事業として24.25年度に楠本浄水場の菅野系の導水管を更新している。費用が多額であると共に布設替えのルートなど工事実施において障害が多い。	指摘事項に対する改善状況	配水池及び施設の更新時に更新内容を検討している。
	細事業の課題・問題点	大迫田浄水場の菅野系原水導水管を耐震管への更新を平成28年度に実施予定とし、大迫田低地区配水池・高地区配水池の更新場所の選定を検討中である。	事業全体の課題・問題点	施設統合計画(一の井手)を実施中であるが、今後、実施する更新について工務・浄水で協議し進める。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	工務・浄水で長期計画について28年度に委託する予定である。	改善案	過去の更新計画を見直す。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	水道工務課と連携を図りながら、効果的に実施されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600502
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
基幹浄水場の耐震化率は、0パーセントであり、市民への安定給水に支障をきたす恐れがある。平成28年度より、大迫田浄水場の耐震化率の向上のため菅野系の導水管の耐震化を実施し、その後、耐震化業務委託の成果による耐震化工事を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局浄水課	評価者 (課長)	松田 光男	評価責任者 (部長)	川崎 和範
事務事業コード	事務事業名	水道施設整備事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別
				会計名	11水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	安全で安定した水道水の供給を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	老朽化設備の計画的な更新			【 】 %	
	推進施策の展開	☆.安心安全な飲料水の安定供給			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 水道水の安定供給	意図(どういう状態にしたい): 浄水処理の安定化を図るとともに、ランニングコストの削減。	事業の内容 (手段)	・菊川浄水場送水ポンプ更新工事(H26、H27継続事業) 他12件 施設、機器等の耐用年数を考慮し計画的に更新を進めてまいります。更新の際には、積極的に省エネ機器を導入しランニングコスト削減。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度は更新工事12件を計画し、11件を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	47,864	211,766	87,931	39,369	104,710
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額)	うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	34,023	63,576		対28年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値						(決算額)	うち一財	千円			菊川浄水場の送水ポンプ更新事業が終了したため		
	実績値						正職員人件費	千円	0	44,370				
	達成度(%)						人工数	人		6.00				
						支出コスト	千円	決) 34,023	決見) 107,946					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否				
	①		老朽化設備の計画的な更新 (施設等整備事業)	市民	計画的な更新による安定給水	確実な更新と経費削減の検討	不要な計画を中止し、更新費用を削減。今後も不要な業務は縮小廃止を検討しながら進める。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							6				否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 費用対効果を常に検証しながら進める必要がある。				B	改善案	計画を精査し取り組む必要がある。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	☆.耐用年数や精度向上に向け水質計器や送水ポンプなど更新している。☆.財源が減少傾向にあり、年数を条件とした更新は不可能であると共に維持管理・点検整備により、更新を延長するなど対応が必要。	前年度までの指摘事項	費用対効果の無い施設、過大な施設建設を中止。	指摘事項に対する改善状況	事業計画を精査し年間予定を決定している。
	細事業の課題・問題点	統合に向けて進めている一の井手において送水方法・受水位置等を検討。具体的には、電気設備やポンプ設備などの工事を延期し、今年度、実施設計を起工する。	事業全体の課題・問題点	最低限度の更新を計画し、更新延長のための点検等を強化する。		

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	菊川浄水場の業務委託により、簡易な修繕を職員対応で実施しているなど、修繕費の削減、点検が強化されている。	改善案	施設の整備点検を中心とした職員配置を検討したい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 水需要の減少により浄水場の稼働率が低下するなか、施設のダウンサイジングは、将来の資本費、維持管理費の削減に繋がる。また、動力費、薬品費等の変動費については、稼働率を考慮し(費用対効果)、契約電力の変更、夜間電力の活用、適正な在庫等の観点から見直しをされたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600505
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(5)水道基盤の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特記事項なし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	上下水道局浄水課	評価者 (課長)	松田 光男	評価責任者 (部長)	川崎 和範		
事務事業コード	事務事業名	安全管理強化事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別	会計名	11水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V21 水道水の安定供給	基本方向	安全で安定した水道水の供給を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	安心・安全な水の供給を図る。			【 】 %	
	推進施策の展開	☆.安心安全な飲料水の安定供給			25年度市民評価の満足度	
		【 】 %				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 施設及び水質の安全確保	意図(どういう状態にしたい): 安定的な飲料水確保と水質安全の監視と努力	事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> 一の井手浄水場監視カメラ設備更新工事 無人施設である一の井手浄水場の既設監視カメラを更新します。 各浄水場において水質機器の更新・整備を実施し、監視を強化します。 災害時を想定した対応訓練等を定期的実施します。 		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度は新設工事3件、分解他点検が3件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	11,200	10,120	8,351	7,977	13,790
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目			単位	%	(予算額) うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	6,492	9,699		対28年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値						(決算額) うち一財	千円						
	実績値						正職員人件費	千円	0	7,395				
	達成度(%)						人工数	人		1.00				
							支出コスト	千円	決) 6,492	決見) 17,094				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	安全管理強化事業 (施設等整備事業)	市民	安全な飲料水の確保	水質の監視及び危機管理対応の強化	マニュアル及び危機管理対応の訓練実施。定期的な訓練を今後務継続する。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							1			否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 費用対効果を常に検証しながら進める必要がある。					細事業評価	B	改善案	計画を精査し取り組む必要がある。				
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	水道施設への不審者侵入や車両事故等による水質汚染事故など水質・施設の監視の強化を実施中である。	前年度までの指摘事項	水質監視と侵入者対策の強化。	指摘事項に対する改善状況	監視装置(カメラ・センサー)の維持更新、水質監視装置の新設(残塩 8件、生物モニター 2件、油膜検知 2件)
	細事業の課題・問題点	監視強化は当然であるが点検維持費及び更新時期(8年から10年)であることから更新費用が多額である。	事業全体の課題・問題点	点検については、業務委託が中心となり点検費用が増加傾向にある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	維持管理、点検の強化により職員において部品交換など実施。	改善案	施設の整備点検を中心とした職員配置を検討したい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 水道水の安定供給にはハード面(施設の点検整備)のみならず、ソフト面(人材育成)の強化が欠かせない。特に災害等、危機に際しては、日常の訓練が効果を発揮する。定期的な訓練を実践されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600504
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(4)安全管理の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特記事項なし

備考